



JFE グループ CSR報告書 2017

環境データ集

CONTENTS

- 01 報告対象範囲
- 02 組織概要

JFEグループ

- 03 ISO14001取得の状況/JFEグループの環境会計
- 04 JFEグループのCO₂排出量
- 05 JFEグループのリサイクル事業の展開
- 06 JFEグループのリサイクル事業一覧
- 07 環境重点目標と実績

JFEスチール

- 09 マテリアルフロー
- 11 投入資源/供給製品
- 12 リサイクル資源/CO₂排出量およびエネルギー使用量
- 14 排出物

JFEエンジニアリング

- 25 投入資源/供給製品
- 26 CO₂排出量およびエネルギー使用量/環境負荷低減技術
- 27 排出物/化学物質管理
- 28 各部門・事業所ごとの廃棄物発生・処分状況

JFE商事

- 30 電力使用量およびCO₂排出量/投入資源
- 31 環境省「環境報告ガイドライン2012」対照表

本誌は「JFEグループ CSR報告書2017」の報告内容を補足するため
事業会社3社の環境対策に関するさまざまなデータや
JFEグループのリサイクル事業に関するデータを掲載しています
当社の環境への取り組みをより深くご理解いただくための補遺版としてご覧ください



対象期間

2016年度(2016年4月1日～2017年3月31日)

対象組織

1. JFEホールディングス(株)とその事業会社である以下の3社

- JFEスチール(株)
- JFEエンジニアリング(株)
- JFE商事(株)

2. 次のデータについては、以下に示す「集計対象の主要国内外グループ会社」も対象としています。

【環境データ集計対象】

- ISO14001取得状況
- CO₂排出量
- エネルギー使用量(JFEスチールグループ、JFEエンジニアリンググループ)
- SO_x、NO_x排出量(JFEスチールグループ)
- 工業用水受入量(JFEスチールグループ)
- COD(JFEスチールグループ)
- PRTR届出物質排出量・移動量(JFEスチールグループ)
- VOC排出量(JFEスチールグループ)

● JFEスチールグループ

JFEスチール(株)および以下の国内外連結子会社30社(計31社)

【国内26社】

JFEミネラル(株)、水島合金鉄(株)、JFEマテリアル(株)、千葉リバーメント(株)、水島リバーメント(株)、JFE精密(株)、JFEプラリソース(株)、JFE条鋼(株)、JFE建材(株)、JFE鋼板(株)、JFEコンテイナー(株)、JFE溶接鋼管(株)(旧JFE鋼管(株))、JFE大径鋼管(株)、ガルバテックス(株)、JFE継手(株)、JFEテクノワイヤ(株)、JFE鋼材(株)、JFE商事電磁鋼板(株)^{※1}(旧JFE電磁鋼板(株))、JFE物流(株)、JFEケミカル(株)、JFEライフ(株)、ジェコス(株)、JFEロックファイバー(株)、JFE建材フェンス(株)、J-ロジテック(株)、ケーブラシート(株)

※1 2016年度はスチールグループとしてデータを集計

【海外4社】

Nova Era Silicon、JFE Steel Galvanizing(Thailand) Ltd.、Thai Coated Steel Sheet Co.、Ltd.、Philippine Sinter Corporation

● JFEエンジニアリンググループ

JFEエンジニアリング(株)および以下の国内連結子会社10社(計11社)

あすか創建(株)、ジャパン・パイプライン・エンジニアリング(株)、JFE環境(株)、ジャパン・リサイクル(株)、(株)日本リサイクルマネジメント、JFEアーバンリサイクル(株)、北日本機械(株)、JFEテクノス(株)、富士化工(株)、東北ドック鉄工(株)

● JFE商事グループ

JFE商事(株)および以下の国内外鋼材加工会社(連結子会社)33社(計34社)

【国内19社】

JFE商事コイルセンター(株)、JFE商事甲南スチールセンター(株)、JFE商事ブリキセンター(株)、愛知管材工業(株)、大阪スチール(株)、(株)九州テック、甲南プランキングサービス(株)(旧倉敷スチール(株))、新日本工業(株)、大清興業(株)、東洋金属(株)、栃木シャーリング(株)、内外スチール(株)、長野製罐(株)、新潟スチール(株)、日本磁性材工業(株)、北陸興業(株)、北陸スチール(株)、水島鋼板工業(株)、水島メタルプロダクツ(株)

【海外14社】

東莞川電鋼板製品有限公司、広州川電鋼板製品有限公司、浙江川電鋼板加工有限公司、江蘇川電鋼板加工有限公司、JFE SHOJI STEEL PHILIPPINES, INC.、CENTRAL METALS (THAILAND) LTD.、STEEL ALLIANCE SERVICE CENTER CO., LTD.、JFE SHOJI STEEL VIETNAM CO., LTD.、JFE SHOJI STEEL HAI PHONG CO., LTD.、JFE SHOJI STEEL MALAYSIA SDN. BHD.、PT. JFE SHOJI STEEL INDONESIA、JFE SHOJI STEEL INDIA PRIVATE LIMITED、VEST INC.、JFE SHOJI STEEL DE MEXICO, S.A. DE C.V.

組織概要

JFEスチール

JFEスチール株式会社

- 本社所在地：〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
- TEL：03-3597-3111
- 売上高(連結)：2兆3,491億円
- 従業員数(連結)：44,395名

主な製造拠点



東日本製鉄所(千葉地区)

〒260-0835 千葉県千葉市中央区川崎町1番地
TEL：043-262-2024 FAX：043-262-2967

●主要事業

熱延鋼板・鋼帯、冷延鋼板・鋼帯、ステンレス鋼板・鋼帯、
表面処理鋼板・鋼帯、UOE鋼管、鉄粉、溶材の生産



西日本製鉄所(倉敷地区)

〒712-8511 岡山県倉敷市水島川崎通り1丁目
TEL：086-447-2020 (代表)
TEL：086-447-2102 (見学センター受付)
FAX：086-447-2131

●主要事業

熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板、電磁鋼板、厚鋼板、
鋼矢板、H形鋼、レール、棒鋼、線棒、UOE鋼管



東日本製鉄所(京浜地区)

〒210-0868 神奈川県川崎市川崎区扇島1番地1
TEL：044-322-1111 (代表) FAX：044-322-1500

●主要事業

厚鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、亜鉛メッキ鋼板、
高機能薄鋼板類や継目無鋼管、溶接鋼管の生産



西日本製鉄所(福山地区)

〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地
TEL：084-945-3118 FAX：084-945-3808

●主要事業

熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板、電磁鋼板、厚鋼板、
鋼矢板、H形鋼、レール、棒鋼、線棒、UOE鋼管



知多製造所

〒475-8611 愛知県半田市川崎町一丁目1番地
TEL：0569-24-2101 (総務室) FAX：0569-24-2022

●主要事業

機械構造用鋼管、自動車用鋼管、材料管、一般構造用鋼管、
配管用鋼管などの生産



仙台製造所

〒983-0001 宮城県仙台市宮城野区港一丁目6番1号
TEL：022-258-5511 FAX：022-258-5540

●主要事業

棒鋼製品(丸鋼、パイプコイル)、線材製品などの生産
※ 仙台製造所の環境データはスチールグループのJFE条
鋼に合算しています。

JFEエンジニアリング

JFEエンジニアリング株式会社

- 東京本社所在地：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号(丸の内トラストタワーN館19階)
- TEL：03-6212-0800 (代表) FAX：03-6212-0802
- 横浜本社所在地：〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
- TEL：045-505-7435 (代表) FAX：045-505-8902 TEL：045-505-8953 (広報担当)
- 売上高(連結)：4,261億円
- 従業員数(連結)：9,166名

主な製造拠点



鶴見製作所

〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
TEL：045-505-7435 FAX：045-505-8902

●主要事業

エンジン、シールド掘進機、ボイラー・タービン、
水道施設などの製作



津製作所

〒514-0393 三重県津市雲出鋼管町1番地
TEL：059-246-2010 FAX：059-246-2792

●主要事業

橋梁、港湾構造物など鋼構造物の製作

JFE商事

JFE商事株式会社

- 東京本社所在地：〒100-8070 東京都千代田区大手町一丁目9番5号(大手町フィナンシャルシティ・ノースタワー)
- TEL：03-5203-5053 FAX：03-5203-5289
- 大阪本社所在地：〒530-8318 大阪市北区堂島一丁目6番20号(堂島アバンザ)
- TEL：06-4795-7011 FAX：06-4795-7400
- 売上高(連結)：1兆6,710億円
- 従業員数(連結)：6,838名

JFEグループ

JFEグループ

JFEスチール

JFEエンジニアリング

JFE商事

ISO14001取得の状況

JFEスチールおよびJFEエンジニアリングのすべての製造拠点とJFE商事の国内全事業所で、ISO14001を取得しています。また、グループ会社における取得状況は以下の通りです。

ISO14001取得会社一覧(一部事業所などでの取得も含む)

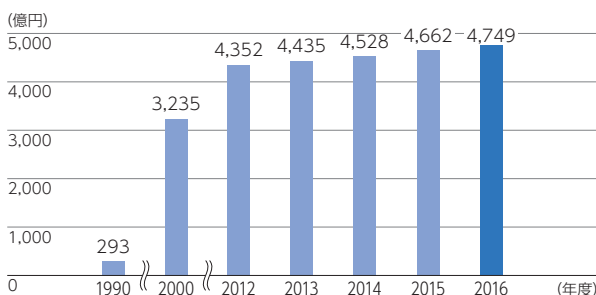
JFEスチール(株)	JFEミネラル(株)	JFE商事電磁鋼板(株)(旧JFE電磁鋼板(株))
	水島合金鉄(株)	大和鋼帯(株) ^{*1}
	JFEマテリアル(株)	JFEプラントエンジニアリング(株) ^{*1}
	JFEプラリソース(株)	品川リフラクトリーズ(株) ^{*1 *2}
	JFE条鋼(株)	JFE物流(株)
	JFE建材(株)	JFEテクノリサーチ(株) ^{*1}
	JFE鋼板(株)	JFEケミカル(株)
	JFEコンテナ(株)	JFE建材工事(株) ^{*1}
	JFE溶接鋼管(株)(旧JFE鋼管(株))	広州JFE鋼板有限公司 ^{*2}
	JFE継手(株)	Thai Coated Steel Sheet Co., Ltd.
JFEエンジニアリング(株)	リパースチール(株)	Philippine Sinter Corporation
	JFE環境(株)	富士化工(株)
	ジャパン・リサイクル(株)	あすか創建(株)
JFE商事(株)	JFEアクアサービス機器(株) ^{*1}	
	JFE商事コイルセンター(株)	JFE商事マテック(株) ^{*1}
	JFE商事甲南スチールセンター(株)	川商フーズ(株) ^{*1}
	大清興業(株)	ケー・アンド・アイ特殊管販売(株) ^{*1}
	東洋金属(株)	(株)トーセン ^{*1}
	内外スチール(株)	星金属(株) ^{*1}
	日本磁性材工業(株)	東莞川電鋼板製品有限公司
	北陸スチール(株)	広州川電鋼板製品有限公司
	水島鋼板工業(株)	浙江川電鋼板加工有限公司
	水島メタルプロダクツ(株)	江蘇川電鋼板加工有限公司
	JFE商事薄板建材(株) ^{*1}	JFE SHOJI STEEL PHILIPPINES, INC.
	JFE商事エレクトロニクス(株) ^{*1}	CENTRAL METALS (Thailand) Ltd.
	JFE商事鋼管管材(株) ^{*1}	JFE SHOJI STEEL VIETNAM CO.,LTD.
	JFE商事サービス(株) ^{*1}	JFE SHOJI STEEL HAI PHONG CO.,LTD.
	JFE商事資機材販売(株) ^{*1}	JFE SHOJI STEEL MALAYSIA SDN. BHD.
	JFE商事鉄鋼建材(株) ^{*1}	PT. JFE SHOJI STEEL INDONESIA
	JFE商事テールワン(株) ^{*1}	JFE SHOJI STEEL DE MEXICO,S.A. DE C.V.
	JFE商事ビジネスサポート(株) ^{*1}	

※1 環境データの集計対象範囲外 ※2 持分法適用会社

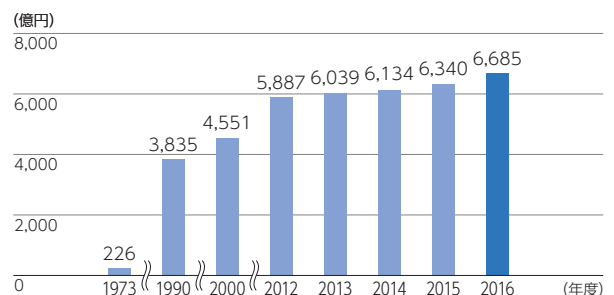
JFEグループの環境会計

● 環境会計

省エネルギー投資累計額



環境保全投資累計額



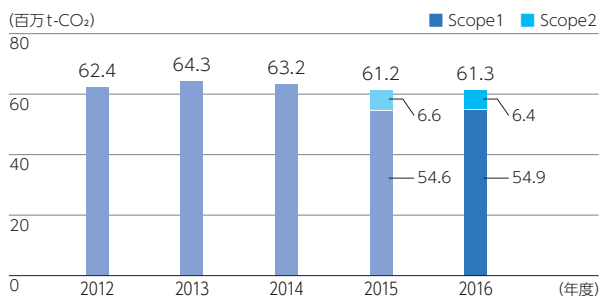
環境保全コストの内訳

主な内容		2015年度		2016年度	
		投資額(億円)	費用額(億円)	投資額(億円)	費用額(億円)
マネジメント	環境負荷の監視・測定、EMS関連、環境教育・啓発など	1.0	24	1.0	24
地球温暖化防止	省エネルギー、エネルギー有効利用など	134	341	88	295
資源の有効活用	工業用水の循環	6	178	20	174
	自社内発生物のリサイクル、廃棄物管理など	0.4	52	0.3	51
環境保全	大気汚染の防止	178	385	272	368
	水質汚濁の防止	21	100	46	97
	土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下の防止	0.03	9	5	8
その他	賦課金など	-	7	-	14
研究開発	環境保全・省エネルギー・地球温暖化防止のための技術開発	11	129	12	126
社会活動	自然保護・緑化活動支援、情報公開、展示会、広報など	-	7	-	7
合計		351	1,232	444	1,164

集計範囲：JFEスチール(株)、ただし研究開発のみJFEエンジニアリング(株)を含む

JFEグループのCO₂排出量

JFEグループのCO₂排出量推移



※ 各年度を統一するために、過年度に遡り集計範囲を修正

購入電力のCO₂排出係数

- JFEスチール：日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画における2016年度購入電力のCO₂排出係数
- JFEエンジニアリンググループとJFE商事グループ：各年度の電気事業者別実排出係数
- JFEスチールを除くJFEスチールの国内連結子会社：「平成27年度の電気事業者ごとの実排出係数」の代替値0.000587 (t-CO₂/kWh)
- 海外：GHGプロトコルの各国排出係数

CO₂排出量のグループ別内訳(2016年度)

JFEスチールグループ	JFEエンジニアリンググループ	JFE商事グループ
61,209千t-CO ₂	63千t-CO ₂	30.9千t-CO ₂
99.85%	0.10%	0.05%

集計範囲：JFEスチール、国内外主要子会社30社
 JFEエンジニアリング、国内主要子会社10社
 JFE商事、国内外主要子会社33社 総計76社
 ※ JFEスチールのみ非エネルギー起源CO₂排出量を含む

JFEグループのScope 3排出量

カテゴリー	CO ₂ 排出量(千t-CO ₂)		算出方法
	2015年度	2016年度 ^{※2}	
1 購入した製品・サービス	7,334	11,019	原料、資材、作業外注の購入価格にCO ₂ 原単位 ^{※1} を乗じて算定
2 資本財	-	840	設備投資額にCO ₂ 原単位 ^{※1} を乗じて算定
3 スコープ1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	269	348	電力・蒸気の年間使用量にCO ₂ 原単位 ^{※1} を乗じて算定
4 輸送、配送・上流	341	647	省エネ法報告の輸送距離にCO ₂ 原単位 ^{※1} を乗じて算定
5 事業から出る廃棄物	92	155	種別ごとの廃棄物量にCO ₂ 原単位 ^{※1} を乗じて算定
6 出張	2	4	従業員数にCO ₂ 原単位 ^{※1} を乗じて算定
7 雇用者の通勤	29	46	従業員数にCO ₂ 原単位 ^{※1} を乗じて算定
15 投資	818	848	グループで20%以上株式保有する省エネ法報告義務のある会社からの排出量に株式保有率を乗じて算定

集計範囲：〈カテゴリー1～7〉JFEスチール、JFEスチール国内連結子会社26社^{※2}、JFEエンジニアリング、JFE商事
 〈カテゴリー15〉ジャパンマリンユナイテッド、JFEスチールの持分法適用会社10社(国内8社、海外2社) ※ 精度向上のため、過年度数値を遡り修正

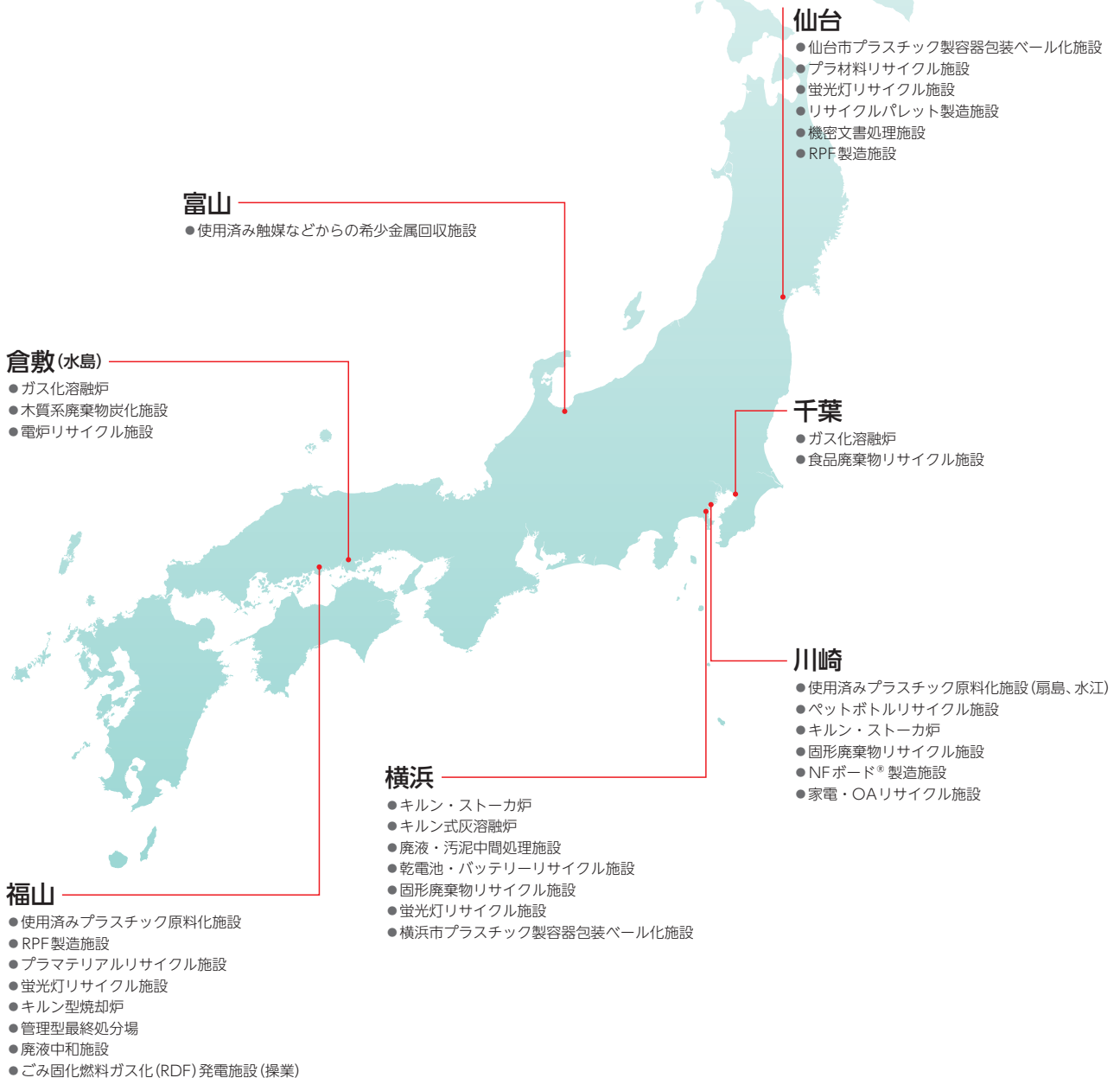
※1 出典：環境省 グリーン・バリューチェーンプラットフォーム等

※2 JFEスチール国内連結子会社26社は2016年度のみ該当

JFEグループのリサイクル事業の展開

リサイクル処理事例(2016年度)

内容	処理量
2017年度容器包装プラスチックの落札	10万トン
使用済みプラスチックの製鉄プロセス利用	12万トン
蛍光灯処理	2,000万本
廃家電など	50万台



JFEグループのリサイクル事業一覧

JFEグループのリサイクル事業一覧

地区	会社名および工場・事業所など	施設	施設所在地
仙台	新港リサイクル株式会社 本社工場	仙台市プラスチック製容器包装ペール化施設 プラ材料リサイクル施設 蛍光灯リサイクル施設 リサイクルパレット製造施設 機密文書処理施設 RPF製造施設	宮城県仙台市宮城野区港1-6-1 同上 同上 同上 同上 宮城県宮城郡利府町しらかし台6-5-14
	利府工場		
千葉	ジャパン・リサイクル株式会社 千葉リサイクルセンター 千葉バイオガスセンター	ガス化溶融炉 食品廃棄物リサイクル施設	千葉県千葉市中央区川崎町1 同上
川崎	JFE環境株式会社 扇島工場 川崎ペットボトルリサイクル工場 缶・ペットボトル工場 川崎エコクリーン	使用済みプラスチック原料化施設 ペットボトルリサイクル施設 川崎市缶・ペットボトルペール化施設 キルン・ストーカ炉 固形廃棄物リサイクル施設	神奈川県川崎市川崎区扇島10 神奈川県川崎市川崎区水江町5-1 同上 神奈川県川崎市川崎区扇町5-73ほか 同上
	JFEプラリソース株式会社 水江原料化工場 NFボード®製造工場	使用済みプラスチック原料化施設 NFボード®製造施設	神奈川県川崎市川崎区水江町699-23ほか 神奈川県川崎市川崎区水江町5-1
	JFEアーバンリサイクル株式会社 家電リサイクル工場	家電・OAリサイクル施設	神奈川県川崎市川崎区水江町6-1
横浜	JFE環境株式会社 横浜エコクリーン	キルン・ストーカ炉 キルン式灰溶融炉 廃液・污泥中間処理施設 乾電池・バッテリーリサイクル施設 固形廃棄物リサイクル施設 蛍光灯リサイクル施設 横浜市プラスチック製容器包装ペール化施設 固形廃棄物リサイクル施設	神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-5ほか 同上 神奈川県横浜市鶴見区弁天町3-1 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-8 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-5 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-8 同上 神奈川県横浜市金沢区福浦1-14-5
	ケミカル工場 横浜クリーン資源化工場 鶴見蛍光灯リサイクル工場 横浜プラスチックリサイクル工場 金沢リサイクル工場		
倉敷 (水島)	水島エコワークス株式会社	ガス化溶融炉	岡山県倉敷市水島川崎通1-14-5
	株式会社日本リサイクルマネジメント 倉敷工場	木質系廃棄物炭化施設	岡山県倉敷市水島川崎通1-14-1
	JFE条鋼株式会社 直流アーク電気炉	電炉リサイクル施設	岡山県倉敷市水島川崎通1-5-2ほか
福山	JFEプラリソース株式会社 福山原料化工場	使用済みプラスチック原料化施設	広島県福山市箕沖町113
	JFE環境株式会社 福山RPF工場 福山PMリサイクル工場 福山蛍光灯リサイクル工場 製鉄作業所	RPF製造施設 プラマテリアルリサイクル施設 蛍光灯リサイクル施設 キルン型焼却炉 管理型最終処分場 廃液中和施設	広島県福山市箕沖町115-1 同上 同上 広島県福山市鋼管町1 同上 同上
	福山リサイクル発電株式会社	ごみ固化燃料ガス化(RDF)発電施設(操業)	広島県福山市箕沖町107-8
富山	JFEマテリアル株式会社	使用済み触媒などからの希少金属回収施設	富山県射水市庄西町2-9-38

環境重点目標と実績

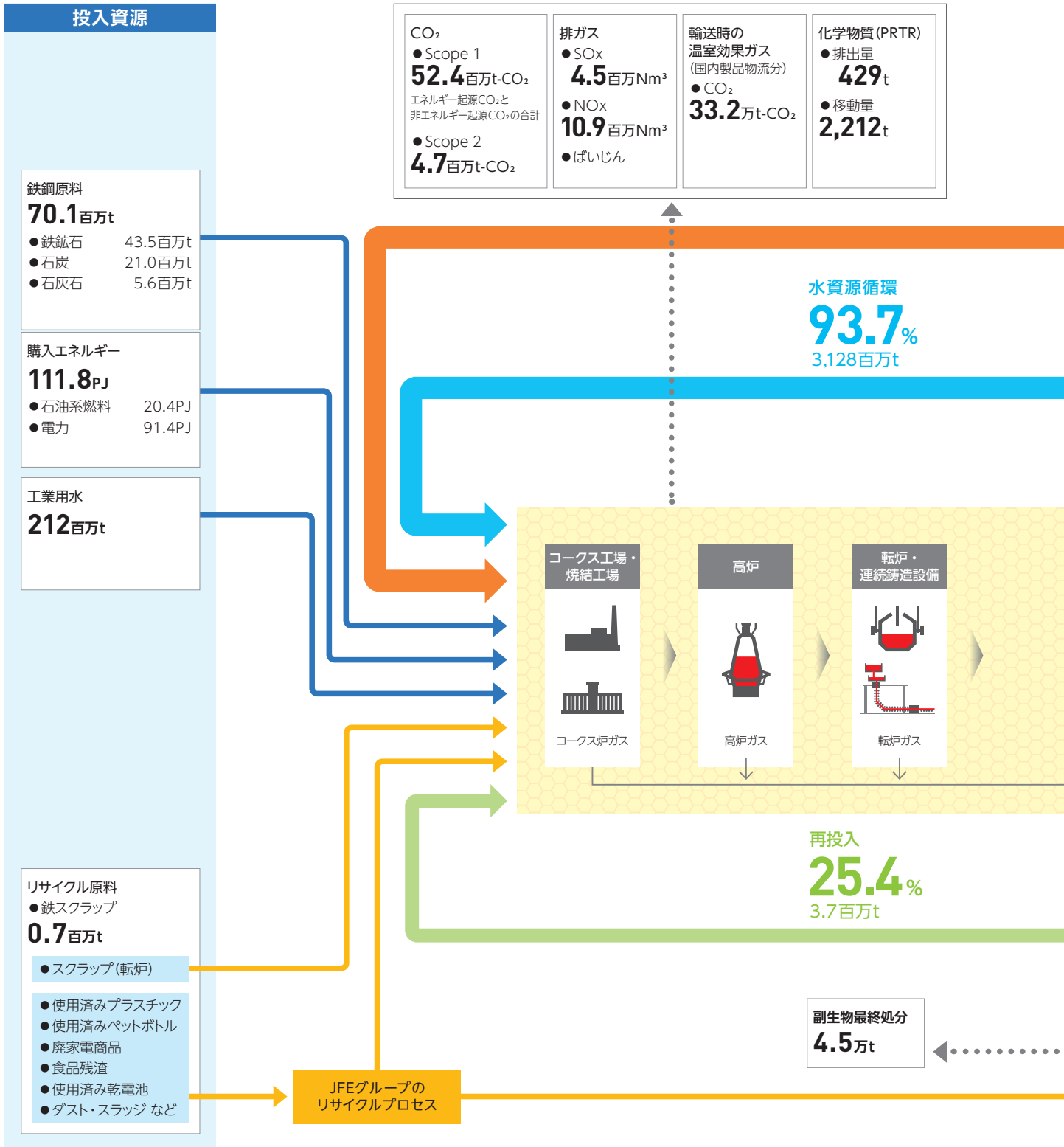
	会社名	2016年度環境重点目標
マネジメント	JFEスチール	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ会社も含めた環境管理システムの継続的改善 ● 自主的な環境保全活動の推進
	JFEエンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ● 全工事サイトにおける環境巡視の実施 ● グループ会社も含めた環境法令遵守の強化
	JFE商事	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令遵守自主チェックの継続
地球温暖化防止対策の推進	JFEスチール	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本鉄鋼連盟が推進する低炭素社会実行計画の確実な達成に向け、温室効果ガス削減対策を継続して実行 (鉄連が推進する低炭素社会実行計画の目標(鉄連ベース) 2020年にBAU(成り行き)比で500万トン/年のCO₂を削減)
	JFEエンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品・サービスを通じた環境負荷低減 部門ごとに、商品・サービスによる環境負荷低減(CO₂削減量など)を評価し、目標を立てて達成に向けた取り組みを実施
	JFE商事	<ul style="list-style-type: none"> ● 電力使用量の削減施策継続 ● コピー用紙使用量削減施策継続
汚染の予防	JFEスチール	<ul style="list-style-type: none"> ● 国のダイオキシン削減計画にしたがい2012～2016年度平均で5.5g-TEQ/年以下を達成
資源循環	JFEスチール	<ul style="list-style-type: none"> ● ダスト・スラッジの発生量削減と資源化の推進
	JFEエンジニアリング	<p>現地工事において、部門ごとに工事特性に応じた目標設定 ※ 目標設定にあたり、以下を維持目標とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● がれきリサイクル率：99.5%以上 ● 汚泥リサイクル率：95.0%以上 ● がれき、汚泥を除く産業廃棄物リサイクル率：85.0%以上

評価：○ 目標達成 △ 一部未達成 × 未達成

2016年度実績	評価	2017年度環境重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境法令遵守についてグループ連絡会2回開催 ● 法令遵守状況を統一フォーマットでチェック&フォロー実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ会社も含めた環境管理システムの継続的改善
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理者研修を実施3回、58名受講 ● 環境監査：全製造拠点およびグループ会社28事業所 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主的な環境保全活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> ● 全工事サイトにおける環境巡視の実施 ● グループ会社を含めた環境法令監査の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ会社も含めた環境法令遵守の強化 <ul style="list-style-type: none"> ※ 産廃処理業者の現地踏査推進 ※ 法令監査のレベルアップ
<ul style="list-style-type: none"> ● 法令遵守自主チェックの実施 ● グループ会社新任役員(35名)を対象に環境管理研修を実施 ● グループ会社の環境監査を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令遵守自主チェックの継続
<ul style="list-style-type: none"> ● 「3つのエコ(エコプロセス・エコプロダクト・エコソリューション)」と「革新的製鉄プロセス(COURSE50)開発」を4本柱とした活動を継続 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本鉄鋼連盟が推進する低炭素社会実行計画の確実な達成に向け、温室効果ガス削減対策を継続して実行(鉄連が推進する低炭素社会実行計画の目標(鉄連ベース) 2020年にBAU(成り行き)比で500万トン/年のCO₂を削減)
<ul style="list-style-type: none"> ● 2016年度までの再生可能エネルギー関連商品提供によるCO₂削減への貢献量：317万t-CO₂/年 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品・サービスを通じた環境負荷低減への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ※ CO₂削減量としての貢献 ※ 社会インフラの延命化等による貢献 ※ 環境配慮商品提供による貢献 ● 拠点(本社・各支店・鶴見製作所、津製作所)における省エネルギー法「事業者クラス分け評価」Sクラス維持 <ul style="list-style-type: none"> ※ エネルギー使用原単位を5年間平均1%削減
<ul style="list-style-type: none"> ● 電力使用量：2001年度比55%削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 電力使用量の削減施策継続
<ul style="list-style-type: none"> ● コピー用紙使用量：2001年度比12%削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● コピー用紙使用量削減施策継続
<ul style="list-style-type: none"> ● 2012～2016年度平均5.5g-TEQ/年 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 国のダイオキシン削減計画にしたがい、焼結炉からの排出量を2013～2017年度平均で5.5g-TEQ/年達成
<ul style="list-style-type: none"> ● 副産物・廃棄物発生量：14.5百万トン ● 資源化率：99.7% 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● ガスト・スラッジの発生量削減と資源化の推進
<p>現地工事を行う7部門につき、すべて目標達成</p> <p>※ 全部門現地工事合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ● がれきリサイクル率：99.3% ● 汚泥リサイクル率：99.5% ● がれき、汚泥を除く産業廃棄物リサイクル率：95.0% 	△	<p>現地工事において、部門ごとに工事特性に応じた目標設定</p> <p>※ 目標設定にあたり、以下を維持目標とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● がれきリサイクル率：99.5%以上 ● 汚泥リサイクル率：95.0%以上 ● がれき、汚泥を除く産業廃棄物リサイクル率：85.0%以上

JFEスチール

マテリアルフロー



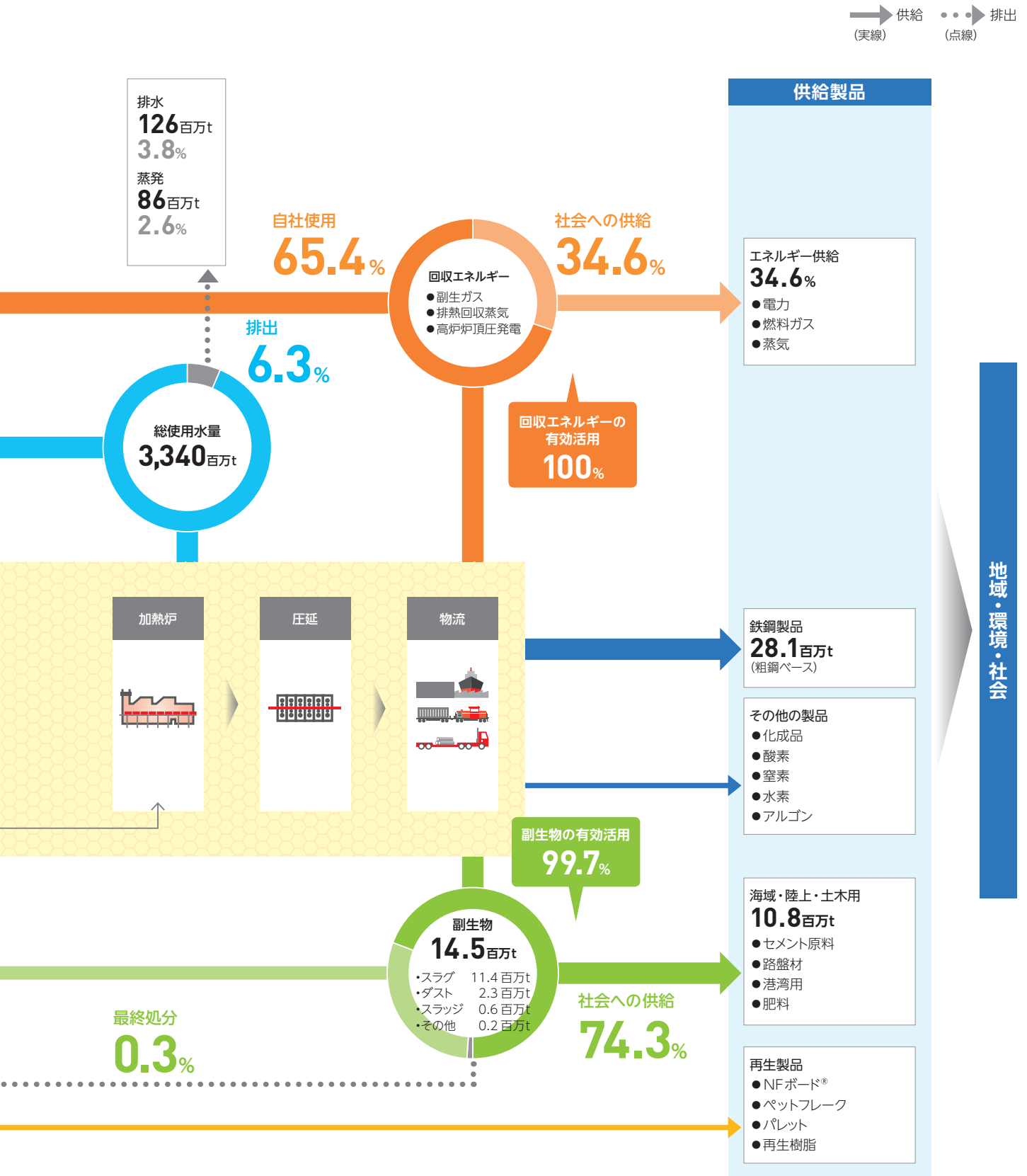
JFEグループ

JFEスチール

JFEエンジニアリング

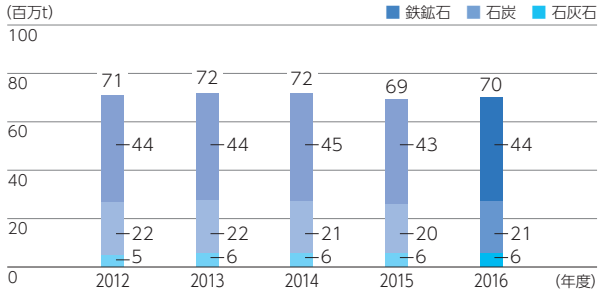
JFE商事

JFEスチールは、製鉄プロセスにおける環境負荷の低減と資源の有効活用を進めています。生産工程で使用する水は**93.7%**を循環利用しており、鉄鋼スラグなどの副生物は**99.7%**を資源化しています。生産工程で生成する副生ガスは鋼材加熱用や自家発電用の燃料としているほか、社会に供給するエネルギーとして**100%**有効に活用しています。



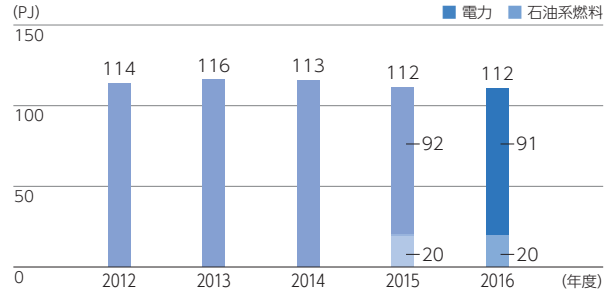
投入資源

鉄鋼原料

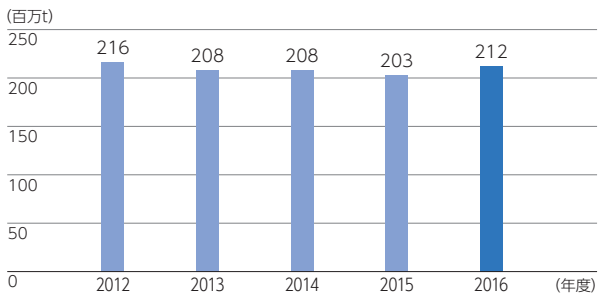


※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

購入エネルギー（電力および石油系燃料）



工業用水

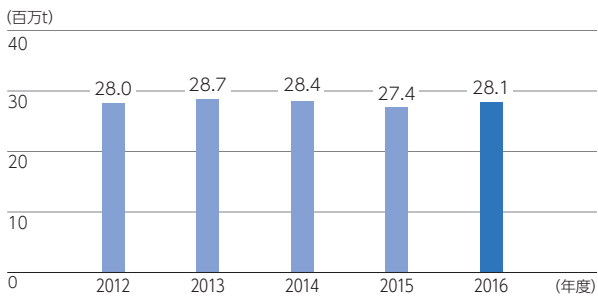


JFEスチールグループ子会社の工業用水等受入量

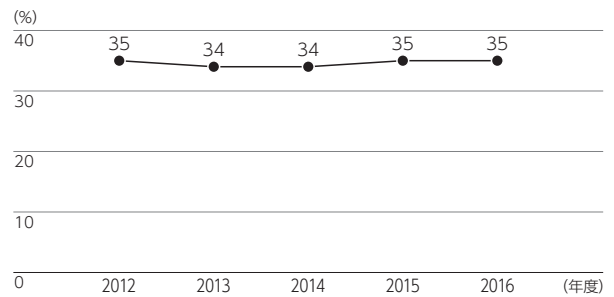
会社名	受入量(m ³)	会社名	受入量(m ³)
JFE条鋼	6,416,912	JFE溶接鋼管 (旧JFE鋼管)	51,281
JFEケミカル	5,514,534	ジェコス	44,549
JFEマテリアル	4,720,185	JFEロックファイバー	30,834
JFE鋼板	2,740,484	ケーブルシート	23,254
JFEミネラル	2,403,258	JFEプラリソース	18,880
JFE精密	875,300	水島リバーメント	18,390
ガルバテックス	680,068	JFE鋼材	14,931
JFEライフ	402,669	千葉リバーメント	11,053
水島合金鉄	400,579	JFE継手	10,023
JFEコンテナ	141,889	J-ロジテック	3,466
JFE建材	126,464	JFE大径鋼管	1,800
JFE物流	99,902	JFE商事電磁鋼板 (旧JFE電磁鋼板)	1,544
JFEテクノワイヤー	91,433		
JFE建材フェンス	73,979		
		合計	24,917,661

供給製品

鉄鋼製品



回収エネルギーの外部供給率



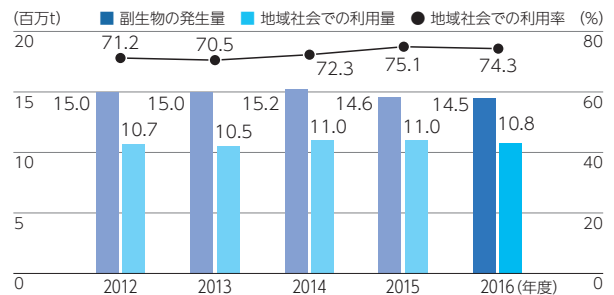
再生製品

- NFボード®
- ペットフレック
- パレット
- 再生樹脂

その他の製品

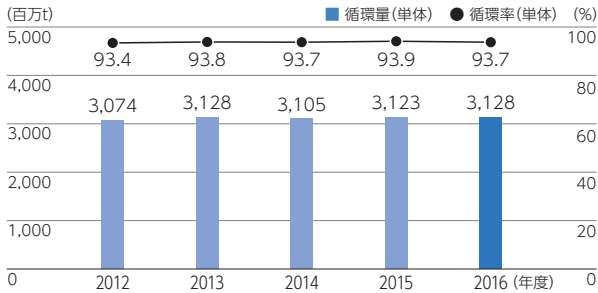
- 化成品
- 窒素
- アルゴン
- 酸素
- 水素

海・陸上・土木用材（副生物からの利用）



リサイクル資源

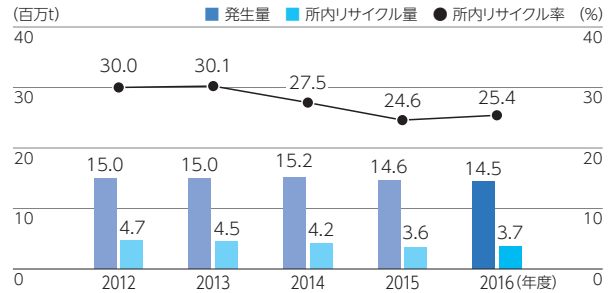
循環水



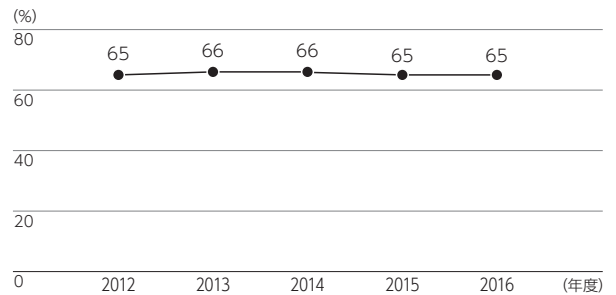
循環水	—	—	—	—	314 (百万m³)
循環率	—	—	—	—	91 (%)

※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社26社

副生物



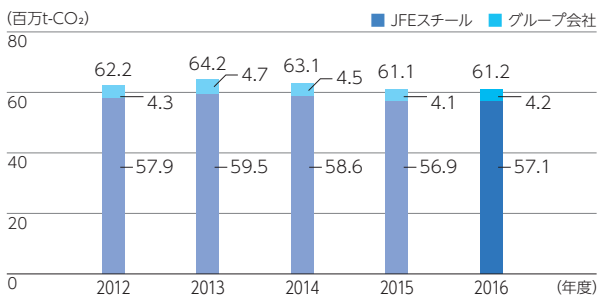
回収エネルギーの自社再利用率



CO₂排出量およびエネルギー使用量

● JFEスチールグループの状況

CO₂排出量推移



集計範囲：JFEスチール(エネルギー起源+非エネルギー起源)、国内外連結子会社30社(エネルギー起源)

※ 各年度を統一するために、過年度に遡り集計範囲を修正

購入電力のCO₂排出係数

- JFEスチール：日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画における2016年度購入電力のCO₂排出係数
- JFEスチール国内連結子会社：「平成27年度の電気事業者ごとの実排出係数」の代替値0.000587 (t-CO₂/kWh)
- 海外：GHGプロトコルの各国排出係数

JFEスチールグループ子会社のCO₂排出量(2016年度)

会社名	排出量 (単位：t-CO ₂)
JFE条鋼	1,185,213
JFEミネラル	384,444
水島合金鉄	329,573
JFEケミカル	240,938
JFE物流	172,932
JFEマテリアル	80,381
JFE鋼板	77,423
JFEロックファイバー	36,587
JFE継手	24,309
JFEプラリソース	24,120
JFE建材	18,642
水島リパーメント	15,539
ジェコス	12,975
JFEテクノワイヤ	11,567
JFEコンテナ	10,668
J-ロジテック	10,400
ガルバテックス	10,368
千葉リパーメント	8,665
JFE精密	6,948
JFE溶接鋼管(旧JFE鋼管)	6,211
ケーブルシート	5,032
JFEライフ	4,886
JFE大径鋼管	4,456
JFE商事電磁鋼板(旧JFE電磁鋼板)	4,309
JFE建材フェンス	3,982
JFE鋼材	3,687
海外(4社)	1,464,835
合計	4,159,090

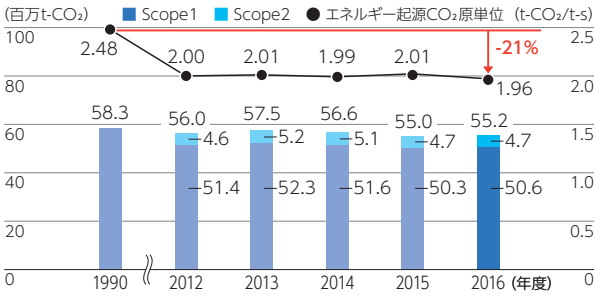
JFEスチールグループ子会社のエネルギー使用量(2016年度)

会社名	使用量 (単位：GJ)
JFE条鋼	19,565,400
JFEミネラル	6,640,887
JFEケミカル	5,306,775
水島合金鉄	3,235,692
JFE物流	2,488,734
JFE鋼板	1,797,947
JFEマテリアル	1,225,518
JFEロックファイバー	508,341
JFEプラリソース	386,995
JFE継手	378,784
JFE建材	334,203
JFEコンテナ	228,604
ジェコス	215,102
水島リパーメント	207,508
ガルバテックス	205,710
JFEテクノワイヤ	196,017
JFE溶接鋼管(旧JFE鋼管)	168,619
千葉リパーメント	154,947
J-ロジテック	150,989
JFEライフ	143,657
JFE精密	121,576
ケーブルシート	96,941
JFE建材フェンス	91,758
JFE大径鋼管	75,153
JFE商事電磁鋼板(旧JFE電磁鋼板)	68,062
JFE鋼材	61,655
海外(4社)	17,605,970
合計	61,661,544

※ 端数調整のため合計が合致しません。

● JFEスチールの状況

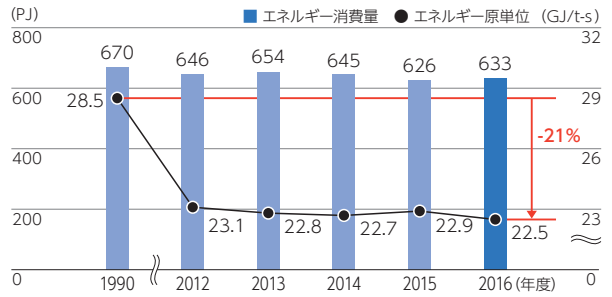
エネルギー起源のCO₂排出量・原単位推移



購入電力のCO₂排出係数：日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画における2016年度購入電力のCO₂排出係数

※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

エネルギー消費量・原単位推移



※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

CO₂原単位、粗鋼生産量の1990年度比増減率

(単位：%)

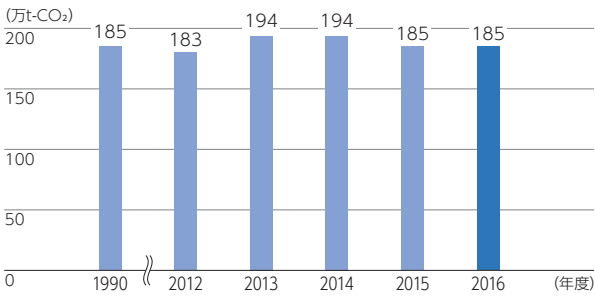
	2012	2013	2014	2015	2016
原単位	-19	-19	-20	-19	-21
粗鋼生産量	19	22	21	16	19

エネルギー原単位、粗鋼生産量の1990年度比増減率

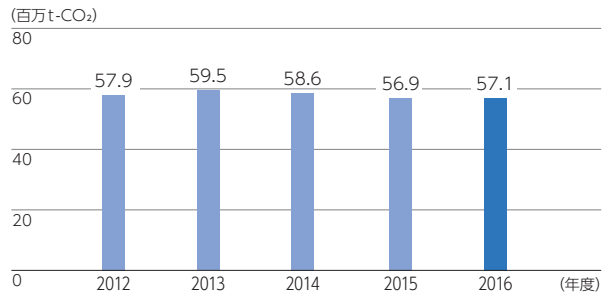
(単位：%)

	2012	2013	2014	2015	2016
原単位	-19	-20	-20	-20	-21
粗鋼生産量	19	22	21	16	19

非エネルギー起源のCO₂排出量推移

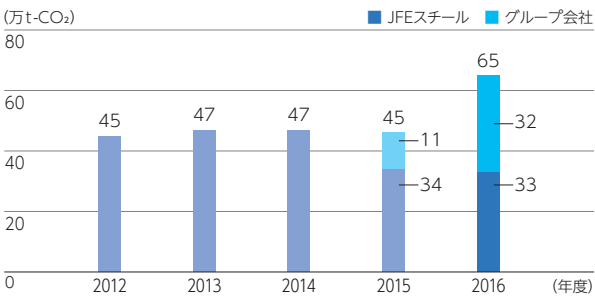


CO₂総排出量(エネルギー起源+非エネルギー起源)



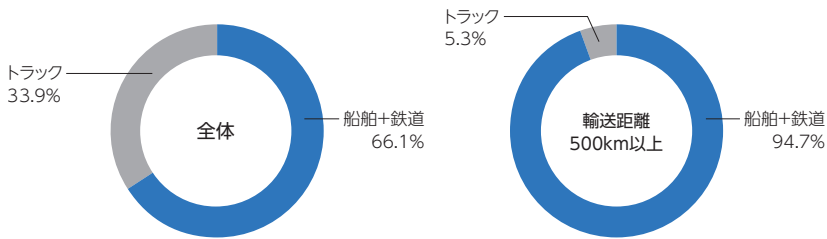
※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

輸送時の温室効果ガス排出量



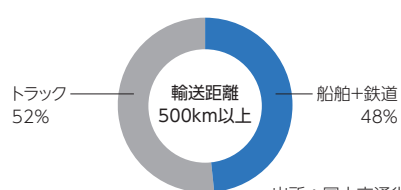
集計範囲：JFEスチールと荷主として省エネ法報告義務のある国内連結子会社11社
2015年度まではグループ会社分はトラックと鉄道のみ
2016年度からはトラック、鉄道、船舶も範囲に変更

モーダルシフト化率(2016年度)



算出方法：輸送量(国内、製品、半製品、のべ数)での割合

〈参考〉全産業トータルでのモーダルシフト化率

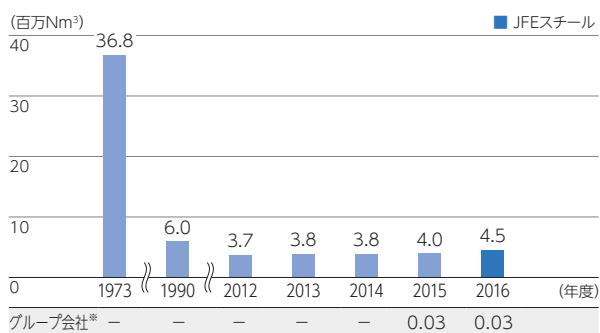


出所：国土交通省

排出物

● 大気への排出

SOx排出量推移

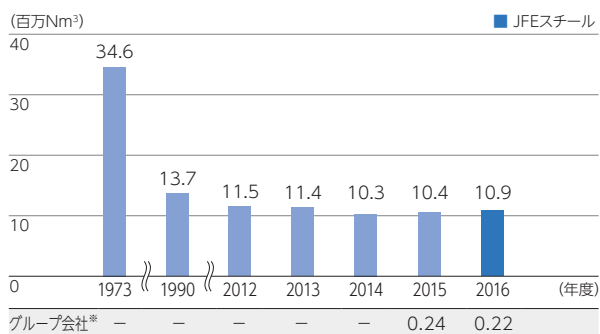


※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社13社

JFEスチールグループ子会社のSOx排出量

会社名	SOx (Nm³)	会社名	SOx (Nm³)
JFEマテリアル	15,628	JFEコンテナ	161
JFEミネラル	6,138	千葉リバーメント	68
JFE条鋼	3,865	JFE建材	53
JFE鋼板	2,214	JFEプラリソース	16
JFEケミカル	2,133	JFE大径鋼管	0
JFE精密	1,402	JFE継手	0
水島合金鉄	281	合計	31,958

NOx排出量推移



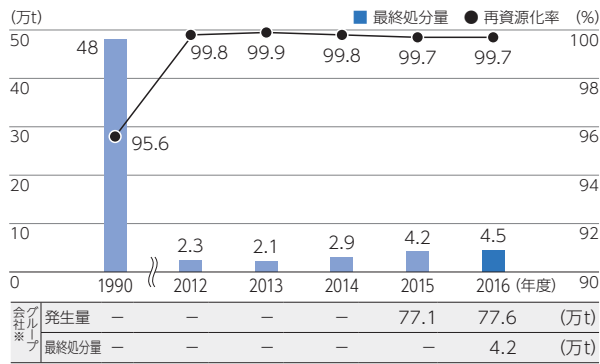
※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社14社

JFEスチールグループ子会社のNOx排出量

会社名	NOx (Nm³)	会社名	NOx (Nm³)
JFEミネラル	69,737	千葉リバーメント	904
JFE条鋼	53,507	水島リバーメント	501
水島合金鉄	30,334	JFE精密	175
JFE鋼板	27,422	JFEプラリソース	5
JFEケミカル	21,610	JFE継手	4
JFEマテリアル	17,901	JFEコンテナ	0
JFE建材	1,819	JFE大径鋼管	0
合計	223,919		

● 副生物最終処分

副生物の最終処分量・再資源化率推移



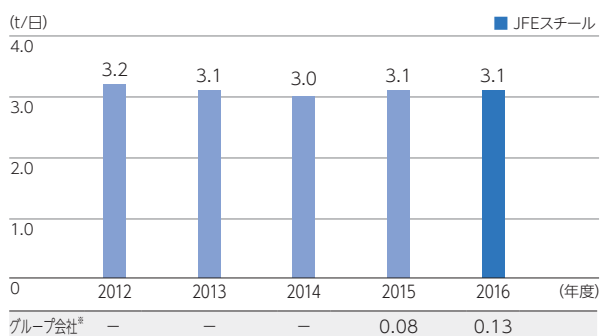
※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社26社

JFEスチールグループ子会社の副生物発生量と最終処分量

会社名	副生物発生量 (t)	最終処分量 (t)
JFE条鋼	384,330	10,921
水島合金鉄	118,123	14,940
JFEマテリアル	72,730	5,847
JFE鋼板	51,153	66
JFE商事電磁鋼板 (旧JFE電磁鋼板)	23,693	10
JFEプラリソース	21,819	895
JFEミネラル	20,194	77
JFE鋼材	16,767	3
JFEロックファイバー	13,154	5,220
JFE溶接鋼管 (旧JFE鋼管)	12,874	0
ジェコス	12,312	318
JFEコンテナ	9,616	253
JFE建材	6,689	71
JFE継手	4,599	584
ガルバテックス	3,524	1,587
JFEテクノワイヤー	1,437	150
JFE建材フェンス	858	162
ケーブルシート	650	1
千葉リパーメント	419	3
JFEケミカル	370	94
JFEライフ	313	201
JFE大径鋼管	252	104
JFE物流	63	238
JFE精密	61	0
水島リパーメント	42	0
J-ロジテック	58	0
合計	776,099	41,744

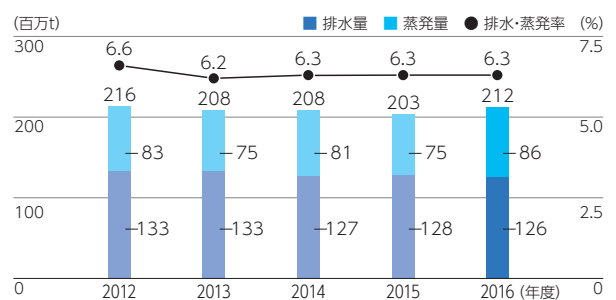
● 水域への排出

COD (化学的酸素要求量) 推移



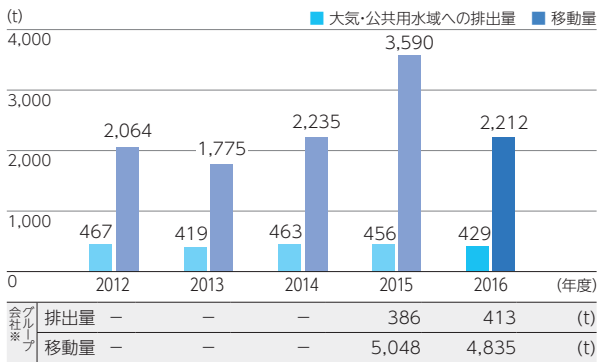
※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社13社

排水・蒸発量



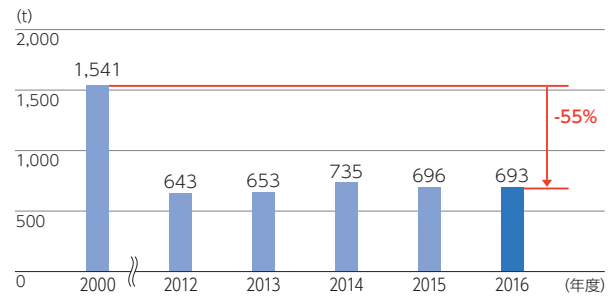
● 化学物質管理

PRTR届出物質の排出量・移動量推移



※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社18社

VOC排出量推移



PRTR届出全物質(全社)

(単位：t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	5.1	0	0	0	0
15	アセナフテン	0.021	0	0	0	0	0
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0.37	0	0	0	27
53	エチルベンゼン	33	0	0	0	0	11
74	パラ-オクチルフェノール	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	112	0	0	0	0	13
83	クメン	1	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0.03	0.46	0	0	0	1148
88	六価クロム化合物	0.0015	0.13	0	0	0	0.64
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.72
185	ジクロロペンタフルオロプロパン(HCFC-225)	45	0	0	0	0	0
186	ジクロロメタン	14	0	0	0	0	0
188	N,N-ジシクロヘキシルアミン	0	0	0	0	0	2.8
240	スチレン	0.91	0	0	0	0	0
242	セレン及びその化合物	0	0.082	0	0	0	1.8
243	ダイオキシン類	4.6	0.0000036	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	20	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩	0	0.065	0	0	0	0
292	トリプチルアミン	3.7	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	5.2	0	0	0	0	0.084
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	4.4	0	0	0	0	0.38
300	トルエン	78	0	0	0	0	1.5
302	ナフタレン	1.5	0	0	0	0	0.17
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	260
308	ニッケル	0	0	0	0	0	84
309	ニッケル化合物	0.0093	2.9	0	0	0	62
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	27
333	ヒドラジン	0	0.18	0	0	0	0
340	ピフェニル	0.011	0	0	0	0	0
353	フタル酸ジエチル	0	0	0	0	0	0
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	41	0	0	0	25
392	ノルマル-ヘキサン	0.0055	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	12	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	23	0	0	0	1.5
406	ポリ塩化ピフェニル(PCB)	0	0	0	0	0	31
407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	0	1.6	0	0	0	0
411	ホルムアルデヒド	0.0001	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.042	18	0	0	0	332
438	メチルナフタレン	0.034	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0.0017	6.1	0	0	0	182
	小計	330	99	0	0	0	2,212
	合計		429				2,212

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(東日本製鉄所/千葉地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.14	0	0	0	0
15	アセナフテン	0.021	0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	1.2	0	0	0	0	0
80	キシレン	1.7	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0.0041	0.4	0	0	0	1000
88	六価クロム化合物	0	0.13	0	0	0	0
185	ジクロロペンタフルオロプロパン(HCFC-225)	45	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	0.38	0.0000036	0	0	0	0
272	銅水溶性塩	0	0.065	0	0	0	0
300	トルエン	0.24	0	0	0	0	0
302	ナフタレン	0.15	0	0	0	0	0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	84
309	ニッケル化合物	0.002	1.7	0	0	0	17
333	ヒドラジン	0	0.18	0	0	0	0
340	ビフェニル	0.011	0	0	0	0	0
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	37	0	0	0	25
400	ベンゼン	1.4	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	8.3	0	0	0	0.44
406	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	0	0	0	0	0	15
412	マンガン及びその化合物	0.0093	0.63	0	0	0	100
438	メチルナフタレン	0.034	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0	2.6	0	0	0	12
	小計	50	51	0	0	0	1,253
	合計		101				1,253

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(東日本製鉄所/京浜地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	2.7	0	0	0	0	1.3
74	パラ-オクチルフェノール	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	8.3	0	0	0	0	2.4
87	クロム及び三価クロム化合物	0.016	0	0	0	0	75
88	六価クロム化合物	0.0015	0	0	0	0	0
240	スチレン	0.22	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	1.5	0	0	0	0	0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.68	0	0	0	0	0.38
300	トルエン	17	0	0	0	0	1.4
302	ナフタレン	0.071	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0.0023	0	0	0	0	2.2
353	フタル酸ジエチル	0	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	8.5	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	2.6	0	0	0	0
406	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	0	0	0	0	0	16
407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	0	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.0099	0.45	0	0	0	150
453	モリブデン及びその化合物	0.0017	1.4	0	0	0	170
	小計	38	4	0	0	0	419
	合計		42				419

※ 合計にはダイオキシン類を除く

※ PRTR届出全物質(東日本製鉄所/西宮地区)：2016年度の排出および移動量はありませんでした。

PRTR届出全物質(西日本製鉄所/倉敷地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	3.2	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0.11	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	4.6	0	0	0	0	0
80	キシレン	6.8	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0.0099	0	0	0	0	23
88	六価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.64
186	ジクロロメタン	1.9	0	0	0	0	0
242	セレン及びその化合物	0	0.082	0	0	0	1.8
243	ダイオキシン類	0.7	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	1.7	0	0	0	0	0
292	トリブチルアミン	3.7	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	2.2	0	0	0	0	0
300	トルエン	31	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0.005	0	0	0	0	2.6
400	ベンゼン	2.2	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	8.2	0	0	0	1.1
407	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	0	1.6	0	0	0	0
411	ホルムアルデヒド	0.0001	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.023	17	0	0	0	63
453	モリブデン及びその化合物	0	1.8	0	0	0	0
	小計	54	32	0	0	0	92
	合計		86				92

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(西日本製鉄所/甲南地区)

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
80	キシレン	1.1	0	0	0	0	0
300	トルエン	2.6	0	0	0	0	0
	小計	4	0	0	0	0	0
	合計		4				0

PRTR届出全物質(西日本製鉄所/福山地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	1.7	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0.26	0	0	0	27
53	エチルベンゼン	18	0	0	0	0	10
80	キシレン	59	0	0	0	0	11
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	50
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.72
186	ジクロロメタン	12	0	0	0	0	0
240	スチレン	0.69	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	2	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	18	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	2.9	0	0	0	0	0.084
300	トルエン	19	0	0	0	0	0.072
302	ナフタレン	1.3	0	0	0	0	0.17
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	260
309	ニッケル化合物	0	1.2	0	0	0	36
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	27
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	4	0	0	0	0
400	ベンゼン	0	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	0
	小計	131	7	0	0	0	422
	合計		138				422

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(知多製造所)

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.02	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	6.8	0	0	0	0	0
80	キシレン	35	0	0	0	0	0
83	クメン	1	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0.063	0	0	0	0.19
188	N,N-ジシクロヘキシルアミン	0	0	0	0	0	2.8
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.099	0	0	0	0	0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	3.7	0	0	0	0	0
300	トルエン	7.7	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0	0.04	0	0	0	3.8
392	ノルマル-ヘキサン	0.0055	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	3.7	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0	0.16	0	0	0	19
453	モリブデン及びその化合物	0	0.29	0	0	0	0.12
	小計	54	4	0	0	0	26
	合計		58				26

● グループ会社のPRTR届出全物質

JFEロックファイバー

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
277	トリエチルアミン	1.3	0	0	0	0	0
349	フェノール	8.7	0	0	0	0	0
411	ホルムアルデヒド	8.9	0	0	0	0	0
	小計	18.9	0	0	0	0	0
	合計	18.9				0	

水島合金鉄

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
405	ほう素化合物	0	0	0	0	0	2.6
412	マンガン及びその化合物	17	0	0	0	0	2,300
	小計	17	0	0	0	0	2,302.6
	合計	17				2,302.6	

JFEマテリアル

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.15	0	0	0	0
75	カドミウム及びその化合物	0	0.0038	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0.27	0.2	0	0	0	260
88	六価クロム化合物	0	0.033	0	0	0	0
242	セレン及びその化合物	0	0.14	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	0.00000063	0.000027	0	0	0	0.00063
305	鉛化合物	0	0.0038	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0.015	0.076	0	0	0	8.2
321	バナジウム化合物	0.029	0.62	0	0	0	25
332	砒素及びその無機化合物	0	0.0076	0	0	0	0
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	2.1	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	0.57	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0	0.53	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0.017	1.9	0	0	0	6.8
	小計	0.3310	6.3342	0	0	0	300
	合計	6.6652				300	

※ 合計にはダイオキシン類を除く

JFE精密

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.17	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.0032
186	ジクロロメタン	20	0	0	0	0	2.4
308	ニッケル	0	0	0	0	0	0.001
453	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0.0013
	小計	20	0.17	0	0	0	2.4055
	合計	20.17				2.4055	

JFE条鋼

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.25	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	45
243	ダイオキシン類	1.283	0	0	0	0	0
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	283
405	ほう素化合物	0	0	0	0	0.17	2
412	マンガン及びその化合物	0	0.012	0	0	0.0039	1,619
	小計	0	0.262	0	0	0.1739	1,949
	合計	0.262				1,949.1739	

※ 合計にはダイオキシン類を除く

JFE建材

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	8.6	0	0	0	0	0
80	キシレン	39.8	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.57
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.17
272	銅水溶性塩	0	0	0	0	0	0.28
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	1.6	0	0	0	0	0
300	トルエン	6.3	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	0.41
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	0	0	0	0	0.58
405	ほう素化合物	0	0	0	0	0	4.9
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	0.27
	小計	56.3	0	0	0	0	7.18
	合計	56.3				7.18	

JFE建材フェンス

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0	0	0	0	1.2
291	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	0	0	0	0	0	1.12
	小計	0	0	0	0	0	2.32
	合計	0				2.32	

JFE鋼板

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	3.91	0	0	0	0	1.77
80	キシレン	4.2302	0	0	0	0	17.5
83	クメン	0.001	0	0	0	0	0.002
87	クロム及び三価クロム	0	0	0	0	0	0.77
88	六価クロム化合物	0	0.0012	0	0	0	1.18
296	1,2,4トリメチルベンゼン	0.539	0	0	0	0	0.86
297	1,3,5トリメチルベンゼン	0.673	0	0	0	0	0.45
300	トルエン	0.197	0	0	0	0	35.48
302	ナフタレン	0.0646	0	0	0	0	0.1
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	0.019
309	ニッケル化合物	0.022	0	0	0	0	0.01
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	0.049	0	0	0	0	0.042
411	ホルムアルデヒド	0.0401	0	0	0	0	0.07
	小計	9.7259	0.0012	0	0	0	58.253
	合計	9.7012				58.253	

JFEコンテナ

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.011	0	0	0	0.373
53	エチルベンゼン	59.097	0	0	0	0	15.5
80	キシレン	121.46	0	0	0	0	32.95
277	トリエチルアミン	0.42	0	0	0	0	0.001
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	21.4	0	0	0	0	3.62
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	4.1	0	0	0	0	0.72
300	トルエン	29.3	0	0	0	0	20.7
411	ホルムアルデヒド	2.52	0	0	0	0	0.735
	小計	238.297	0.011	0	0	0	74.5987
	合計	238.308				74.5987	

JFE溶接鋼管(旧JFE鋼管)

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
188	N,N-ジシクロヘキシルアミン	1.6	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	1.5	0	0	0	0	0
	小計	3.1	0	0	0	0	0
	合計	3.1				0	

JFE大径鋼管

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
80	キシレン	0.148	0	0	0	0	0
300	トルエン	0.662	0	0	0	0	0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0
	小計	0.810	0	0	0	0	0
	合計	0.810				0	

ガルバテックス

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0.39	0.19	0	0	0	143.00
75	カドミウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0.06
305	鉛化合物	0.04	0.02	0	0	0	0.80
	小計	0.43	0.21	0	0	0	143.86
	合計	0.64				143.86	

JFE継手

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
80	キシレン	1.1	0	0	0	0	0
281	トリクロロエチレン	24	0	0	0	0	0
	小計	25.1	0	0	0	0	0
	合計	25.1				0	

JFEテクノワイヤ

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
304	鉛	0	0	0	0	0	0.072
	小計	0	0	0	0	0	0.072
	合計	0				0.072	

ジェコス

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
240	スチレン	4.6	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.9	0	0	0	0	0
	小計	5.5	0	0	0	0	0
	合計	5.5				0	

JFEケミカル

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
15	アセナフテン	0	0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	0.5	0	0	0	0	0
80	キシレン	1.2	0	0	0	0	0
81	キノリン	0	0	0	0	0	0
86	クレゾール	0.1	0	0	0	0	0
190	ジシクロペンタジエン	0.0	0	0	0	0	0
240	スチレン	0.5	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0	0	0	0	0	0
300	トルエン	1.6	0	0	0	0	0
302	ナフタレン	0.5	0	0	0	0	0
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	0
340	ピフェニル	0	0	0	0	0	0
349	フェノール	0.1	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	4.5	0	0	0	0	0
438	メチルナフタレン	0	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0.2
	小計	9.1	0	0	0	0	0.2
	合計		9.1			0.2	

JFEミネラル

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
80	キシレン	0.027	0	0	0	0	0
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.06
300	トルエン	0.052	0	0	0	0	0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	17.02
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	0.21
438	メチルナフタレン	0.011	0	0	0	0	0
	小計	0.09	0	0	0	0	17.29
	合計		0.09			17.29	

ケープラシート

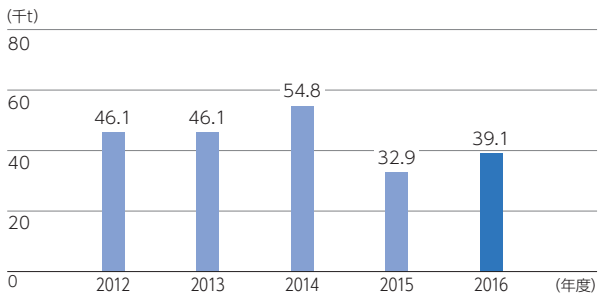
(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	0	0.1	0	0	0	0
	小計	0	0.1	0	0	0	0
	合計		0.1			0	

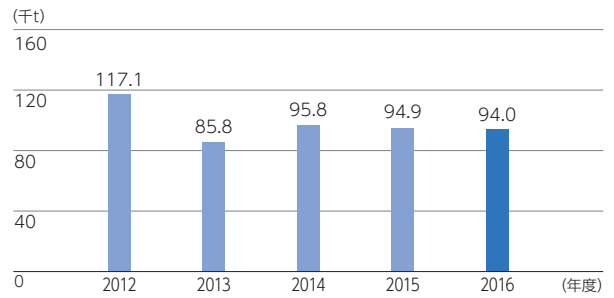
JFEエンジニアリング

投入資源

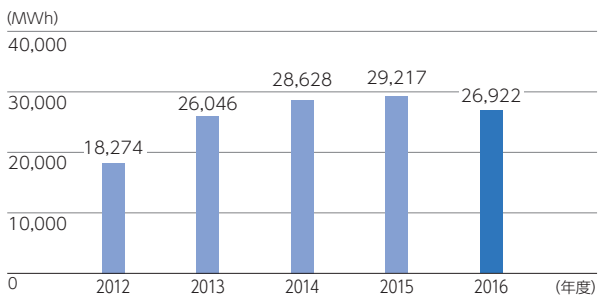
原材料



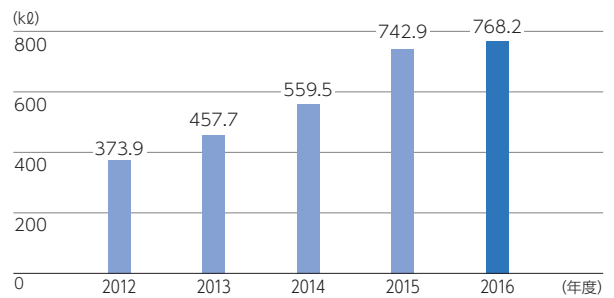
水



電力

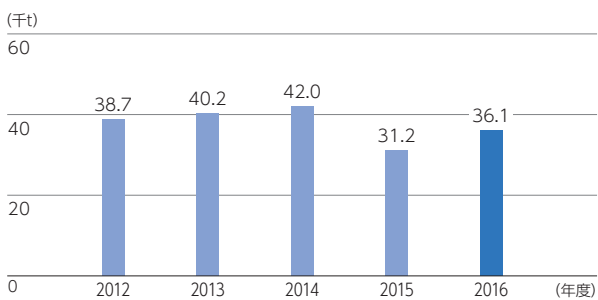


重油・灯油・軽油・ガソリン



供給製品

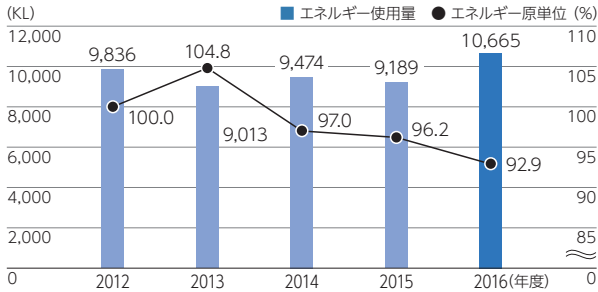
製品



CO₂排出量およびエネルギー使用量

● 単体の状況

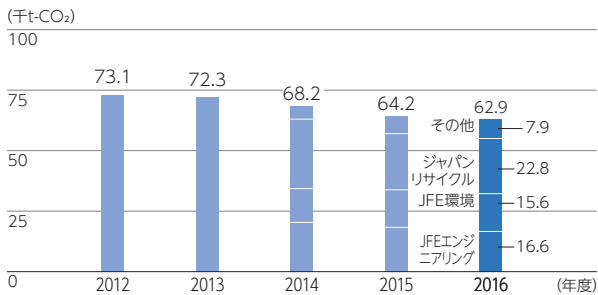
エネルギー使用量および原単位前年度比推移



※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

● グループの状況

CO₂排出量推移



集計範囲: JFEエンジニアリング、国内連結子会社10社のエネルギー起源によるCO₂排出量

※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

JFEエンジニアリンググループ各社のCO₂排出量(2016年度)

(単位: t-CO₂)

会社名	排出量
ジャパン・リサイクル	22,783
JFEエンジニアリング	16,611
JFE環境	15,618
富士化工	2,344
JFEアーバンリサイクル	1,235
東北ドック鉄工	1,129
北日本機械	957
あすか創建	738
ジャパン・パイプライン・エンジニアリング	708
日本リサイクルマネジメント	702
JFEテクノス	87
合計	62,912

JFEエンジニアリンググループ各社のエネルギー使用量(2016年度)

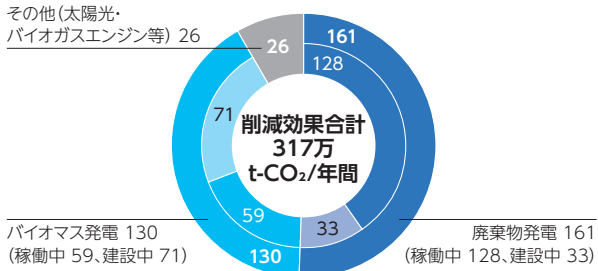
(単位: GJ)

会社名	エネルギー使用量
ジャパン・リサイクル	443,220
JFEエンジニアリング	352,710
JFE環境	270,291
富士化工	44,453
JFEアーバンリサイクル	20,749
東北ドック鉄工	19,722
北日本機械	15,932
あすか創建	12,639
ジャパン・パイプライン・エンジニアリング	11,371
日本リサイクルマネジメント	10,196
JFEテクノス	1,496
合計	1,202,779

環境負荷低減技術

再生可能エネルギー関連プラントによるCO₂削減効果

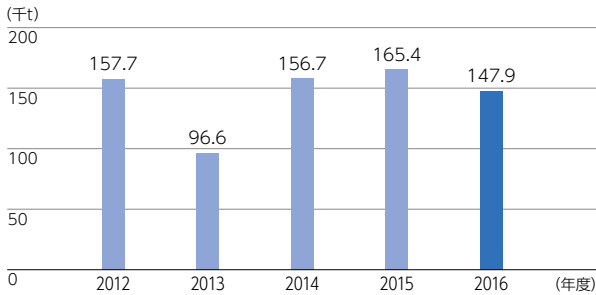
その他(太陽光・バイオガスエンジン等) 26



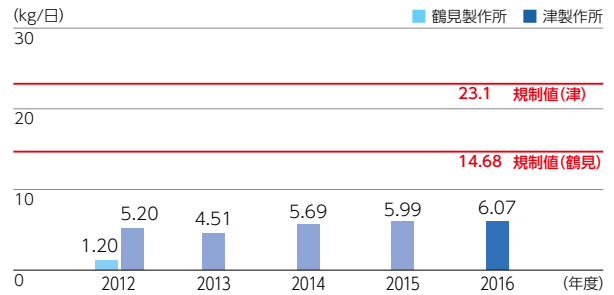
排出物

● 水域への排出

排水



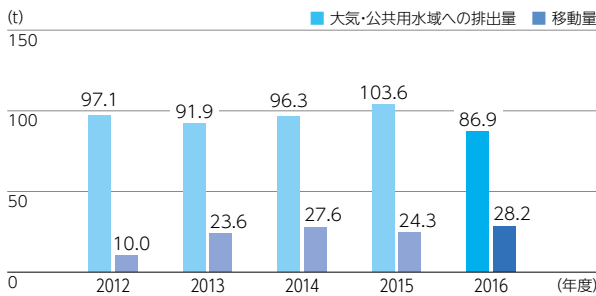
公共水域への排水におけるCOD (化学的酸素要求量)の推移



※ 鶴見製作所は2013年度より公共下水に接続
※ 年間の最大値を報告しています。

化学物質管理

PRTR届出物質の排出量・移動量推移



PRTR届出全物質(全社)

(単位: t/年、ダイオキシン類はmg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	18.1	0	0	0	0	0.95
80	キシレン	41.3	0	0	0	0	2.3
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.95
243	ダイオキシン類	0	0	0	0	0	0.001
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	1.9	0	0	0	0	0.0999
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.80	0	0	0	0	0.042
300	トルエン	24.7	0	0	0	0	2.2
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	3.2
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	17.7
440	1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド	0	0	0	0	0	0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0.79
合計		86.9	0.0	0.0	0.0	0.0	28.2
		86.9				28.2	
		115.0					

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(横浜本社(旧鶴見製作所))

(単位:t/年、ダイオキシン類はmg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	2.0	0	0	0	0	0.22
243	ダイオキシン類	0.0000041	0	0	0	0	0.001
300	トルエン	15.0	0	0	0	0	1.7
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	0.75
440	1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド	0	0	0	0	0	0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0.79
合計		17.0	0	0	0	0	3.5
		17.0				3.5	
		20.5					

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(津製作所)

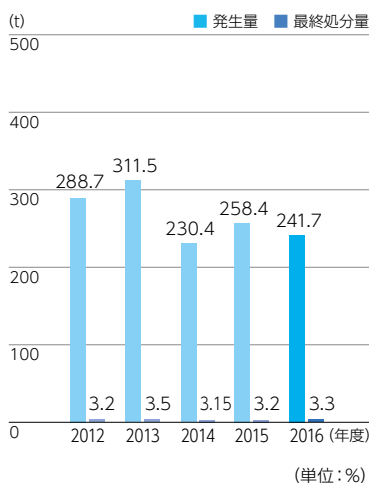
(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	18.1	0	0	0	0	0.95
80	キシレン	39.3	0	0	0	0	2.1
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.95
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	1.9	0	0	0	0	0.0999
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.80	0	0	0	0	0.042
300	トルエン	9.7	0	0	0	0	0.51
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	3.2
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	16.9
合計		69.9	0	0	0	0	24.7
		69.9				24.7	
		94.6					

各部門・事業所ごとの廃棄物発生・処分状況

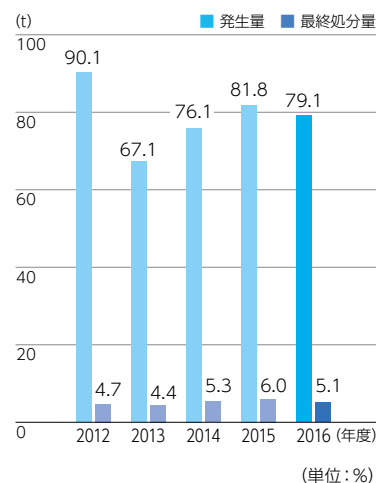
● オフィス部門

横浜本社



	2012	2013	2014	2015	2016
リサイクル率(目標)	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
リサイクル率(実績)	98.8	98.8	98.5	98.7	98.5

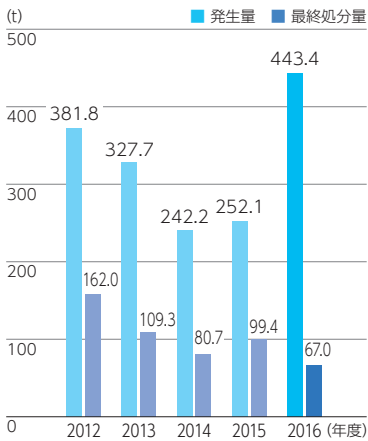
津製作所



	2012	2013	2014	2015	2016
リサイクル率(目標)	91.0	92.0	92.0	92.0	92.0
リサイクル率(実績)	92.1	88.1	87.4	91.5	88.9

● 生産部門

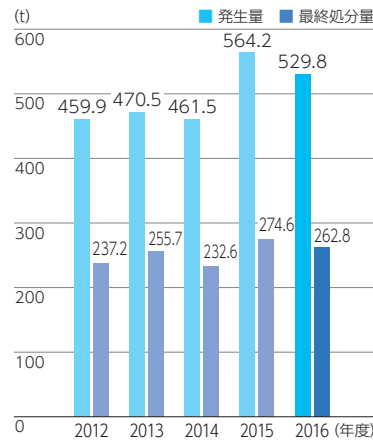
鶴見製作所



(単位: %)

	2012	2013	2014	2015	2016
リサイクル率 (目標)	55.0	56.0	58.0	58.0	58.0
リサイクル率 (実績)	41.4	53.6	57.5	49.8	78.9

津製作所

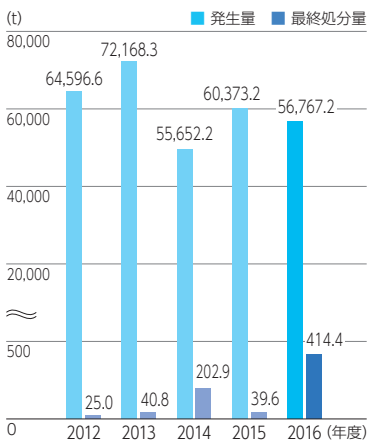


(単位: %)

	2012	2013	2014	2015	2016
リサイクル率 (目標)	29.0	30.0	30.0	31.0	31.0
リサイクル率 (実績)	32.0	30.1	33.9	34.0	32.5

● 工事部門

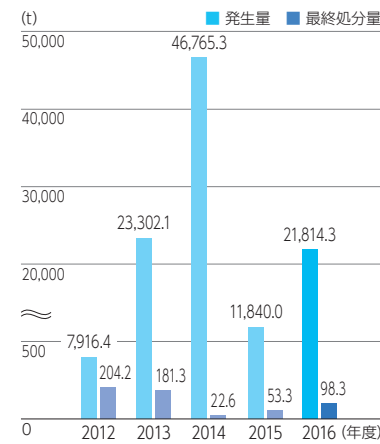
がれき



(単位: %)

	2012	2013	2014	2015	2016
リサイクル率 (目標)	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
リサイクル率 (実績)	100	99.9	99.6	99.9	99.3

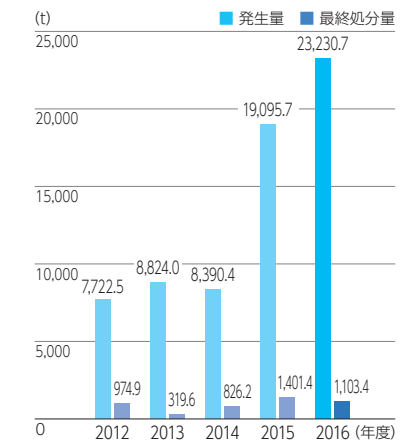
汚泥



(単位: %)

	2012	2013	2014	2015	2016
リサイクル率 (目標)	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
リサイクル率 (実績)	97.4	99.2	99.95	99.5	99.5

がれき・汚泥を除く産業廃棄物



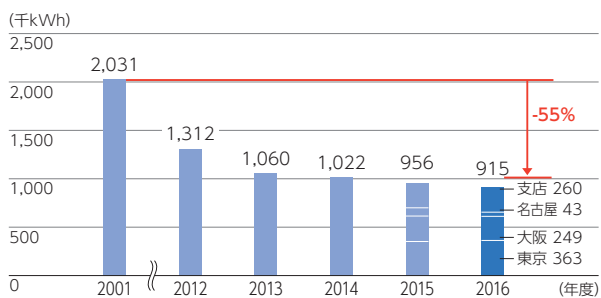
(単位: %)

	2012	2013	2014	2015	2016
リサイクル率 (目標)	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
リサイクル率 (実績)	87.1	96.2	93.3	91.7	95.0

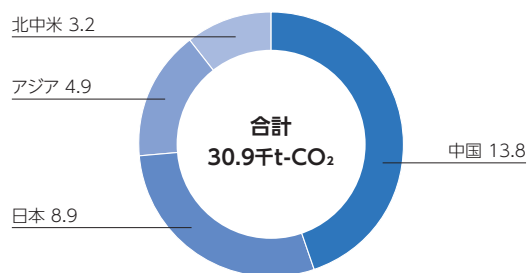
JFE商事

電力使用量およびCO₂排出量

JFE商事の電力使用量推移



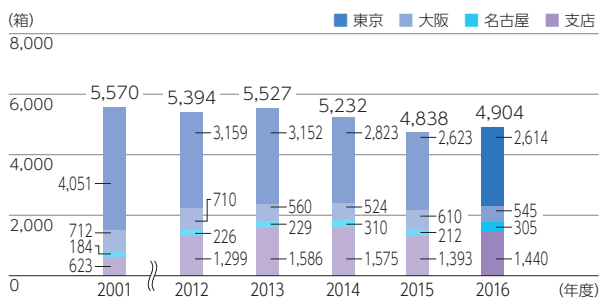
JFE商事グループのCO₂排出量



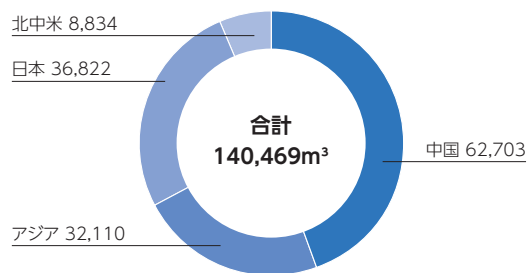
集計範囲: JFE商事、国内外鋼材加工会社33社の電力使用によるCO₂排出量
 購入電力のCO₂排出係数
 国内: 電気事業者別実排出係数
 海外: GHGプロトコルの各国排出係数

投入資源

紙(コピー用紙)使用量



JFE商事グループの水使用量(m³)



集計範囲: JFE商事および国内外の鋼材加工会社33社

環境省「環境報告ガイドライン2012」対照表

環境報告の基本的事項						
項目	CSR報告書における記載					環境データ集掲載ページ
	ページ	項目	JFEスチール	JFEエン지니어リング	JFE商事	
1. 報告にあたっての基本的要件						
(1) 対象組織の範囲・対象期間	1	編集方針	○	○	○	1
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	-	編集方針				-
(3) 報告方針	1	編集方針	○	○	○	-
	77-79	GRIガイドライン対照表	○	○	○	-
(4) 公表媒体の方針等	1	編集方針	○	○	○	-
	裏表紙	連絡先	○	○	○	裏表紙
2. 経営責任者の緒言						
	3-4	トップメッセージ	○	○	○	-
3. 環境報告の概要						
(1) 環境配慮経営等の概要	5-6	JFEグループの事業と社会	○	○	○	-
(2) KPIの時系列一覧	-	-				-
(3) 個別の環境課題に関する対応総括	39-40	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
4. マテリアルバランス						
	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10

[環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況]を表す情報・指標						
項目	CSR報告書における記載					環境データ集掲載ページ
	ページ	項目	JFEスチール	JFEエン지니어リング	JFE商事	
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等						
(1) 環境配慮の方針	2	企業行動指針	○	○	○	-
	35	環境理念・方針	○	○	○	-
	3-4	トップメッセージ	○	○	○	-
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	7-11	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
	38	環境リスクと機会	○	○	○	-
2. 組織体制及びガバナンスの状況						
(1) 環境配慮経営の組織体制等	35-36	環境マネジメント	○	○	○	3
	81-82	第三者意見				-
(2) 環境リスクマネジメント体制	35-38	環境マネジメント	○	○	○	-
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	36	環境監査	○	○	○	-
	48-49	環境の保全	○	○		-
3. ステークホルダーへの対応の状況						
(1) ステークホルダーへの対応	35	環境理念・方針	○	○	○	-
	38	環境リスクと機会	○	○	○	-
	45	鉄鋼業界の取り組み	○			-
(2) 環境に関する社会貢献活動等	55	環境コミュニケーション	○	○	○	-
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況						
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	38	バリューチェーンにおける取り組み	○	○	○	-
	38	環境リスクと機会	○	○	○	-
	43	バリュー・チェーンにおける温室効果ガス排出量(Scope 3)の算定	○	○	○	4
	46	バリューチェーンにおけるCO ₂ 削減	○			13
(2) グリーン購入・調達	38	バリューチェーンにおける取り組み	○	○	○	-
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	29-34	世界最高の技術で持続可能な社会の構築に貢献	○	○	○	-
	46	バリューチェーンにおけるCO ₂ 削減	○			13
	50-51	資源循環	○	○	○	5-6
	52-54	環境配慮商品・技術	○	○	○	-
(4) 環境関連の新技术・研究開発	29-34	世界最高の技術で持続可能な社会の構築に貢献	○	○	○	-
	37	環境会計	○	○		3-4
	45	鉄鋼業界の取り組み	○			-
	52-54	環境配慮商品・技術	○	○	○	-
(5) 環境に配慮した輸送	46	バリューチェーンにおけるCO ₂ 削減	○			13
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発/投資等	37	環境会計	○	○		3-4
	39-40	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
(7) 環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル	50-51	資源循環	○	○	○	5-6, 12, 15, 28-29

「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標						
項目	CSR報告書における記載					環境データ集 掲載ページ
	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジ ニアリング	JFE商事	
1. 資源・エネルギーの投入状況						
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	31-32	環境負荷の低減	○	○	○	-
	39-40	環境重点目標と実績	○	○		7-8
	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10
	43-44	製鉄プロセスにおける省エネルギーとCO ₂ 削減への取り組み	○			11-13
	47	CO ₂ 削減に向けた取り組み		○	○	26, 30
(2) 総物質投入量及びその低減対策	31-32	環境負荷の低減	○	○	○	-
	39-40	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10
(3) 水資源投入量及びその低減対策	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10
	48-49	水資源の効率的利用と汚染防止	○	○		11-12
2. 資源等の循環的利用の状況(事業エリア内)						
	31-32	環境負荷の低減	○	○	○	-
	39-40	環境重点目標と実績	○	○		7-8
	41-42	マテリアルフロー	○			9-10
	48-49	水資源の効率的利用と汚染防止	○	○		12
	51	JFEグループの資源循環の推進	○	○	○	15, 28-29
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況						
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10, 11, 25
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	31-32	環境負荷の低減	○	○	○	-
	39-40	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10
	43-47	地球温暖化の防止	○	○	○	4, 12-13, 26, 30
(3) 総排水量及びその低減対策	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10
	48-49	水資源の効率的利用と汚染防止	○			12
(4) 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10
	48	大気への排出抑制	○	○		14
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10
	49	化学物質の管理・排出抑制	○	○		16-24, 27-28
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	39-40	環境重点目標と実績	○	○		7-8
	41-42	マテリアルフロー	○	○		9-10
	50-51	資源循環	○	○	○	5-6, 15, 28-29
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	49	化学物質の管理・排出抑制	○	○		16-24, 27-28
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況						
	52-54	環境配慮商品・技術	○			-
	55	環境に関する情報発信と交流	○	○	○	-

「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標						
項目	CSR報告書における記載					環境データ集 掲載ページ
	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジ ニアリング	JFE商事	
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況						
(1) 事業者における経済的側面の状況	37	環境会計	○	○		3-4
	38	環境リスクと機会	○	○	○	-
(2) 社会における経済的側面の状況	38	環境リスクと機会	○	○	○	-
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況						
	23	CSRマネジメント	○	○	○	-
	65-67	地域・社会の皆様とともに	○	○	○	-

その他の記載事項等						
項目	CSR報告書における記載					環境データ集 掲載ページ
	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジ ニアリング	JFE商事	
1. 後発事象等						
(1) 後発事象	-					-
(2) 臨時的事象	-					-
2. 環境情報の第三者審査等						
	-					-



JFE

JFEホールディングス株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号

<http://www.jfe-holdings.co.jp/>

【お問い合わせ先】

JFEホールディングス株式会社 企画部

TEL: 03-3597-4321 (大代表)

E-mail: kankyo@jfe-holdings.co.jp